

# DADA 2

RECUEIL LITTÉRAIRE ET ARTISTIQUE

DÉC **早稲田大学教授・會津八一記念博物館館長**

## 塚原史 講演会

# ダダ百周年と 現代芸術

ツアラによるアートへのグローバル化と  
起原への遡行の企て

**2016/12/02**

**16h50-18h20**

**関西学院大学文学部4号教室**

**入場無料・申込不要**

問い合わせ [akihirokubo@kwansei.ac.jp](mailto:akihirokubo@kwansei.ac.jp) (久保昭博)

科研費「世界文学の時代におけるフィクションの役割に関する総合的研究」

1916年第一次世界大戦下のチューリッヒでルーマニア出身の詩人トリスタン・ツアラが始めたダダ運動は短期間で欧米から日本まで地球規模で拡散し、アートのグローバル化の最初期の実例となりましたが、他方でダダの冒険はアフリカ・オセアニア先住民の芸術への共感に見られる芸術の起原への遡行の企てでもありました。二つの方向性の重なりとしてダダを捉えることから、ダダ百周年のプレイバックを通じて現代アートの行方を探ります。